

銀行システム開発で培った信頼と実績

ぶぎんシステムサービス

埼玉県に根差した IT サービスを提供

ぶぎんシステムサービス株式会社は、武蔵野銀行のシステム開発・運用を専門に行う企業として1989年8月に設立されました。現在は銀行システムの開発で培ったノウハウを基に、ぶぎんグループ全体のIT基盤の整備をはじめ、埼玉県内企業の業務効率化やデジタル化を支援する多様なサービスを提供しています。

企業のデジタル化支援に向けた取り組み

日本の生産年齢人口は1995年をピークに減少しており、2050年には5千万人余りまで減少すると予測されています。またOECD（経済協力開発機構）の調査では日本の時間当たり労働生産性の低さも指摘されています。

人手不足と低い生産性に加え、昨今の物価や賃

金上昇は、特に中小・中堅企業の経営に大きな影響を与えていますが、これらの問題を解決し、企業が発展を続けるための手段のひとつに「デジタル技術の活用」があります。

企業を取り巻く経営課題は上記の「生産年齢人口の減少による構造的な人手不足」や「生産性の伸び悩み」に加え、「働き方改革への対応」・「経営者の高齢化」・「30年ぶりの賃上げ」・「金利のある世界」など多種多様になっています。

例えば、バックオフィス部門が担っている経費精算業務や取引先との間で発生する請求／支払い業務などにデジタル技術を活用することで、業務時間を大幅に削減することができます。

また、このような業務は往々にして属人化しやすい傾向がありますが、業務をデジタル化することで「属人化していた業務の見える化」が進み、「誰でも作業ができる環境」を作ることが可能となります。

ぶぎんシステムサービスは県内事業者さまの業務のデジタル化を支援するための様々なサービスを展開しています

デジタル化支援	企業のIT化を実現するために、システムパッケージ商品の販売やパートナー企業を通じてのシステム開発及び導入支援をおこなっています。
ネットワーク環境構築	社内外のネットワーク環境の調査、設計、構築、現地設置、設定作業までを一貫してサポートします。
Webサイト作成支援	コーポレートサイトやECサイトの制作を手掛け、企業のオンラインプレゼンス向上を支援します。
埼玉ネットワークサービス	埼玉県の地元金融機関が提携し、お取引先（集金先）の取引金融機関から早く、そして安価に口座振替により各種代金を回収するサービスです。
EBサービス相談	企業の資金管理の効率化やオフィス業務の合理化を支援します。



「物流の2024年問題」※1への対応

「物流の2024年問題」を契機として、運送業界には、収益構造と労働環境の両面での抜本的な改革が求められています。この大きな転換点において、その鍵を握るのが、業務プロセスの最適化とデータ活用を軸としたDX（デジタルトランスフォーメーション）です。

埼玉県は、約3,400社のトラック運送事業者を有し、全国第3位の事業者数を誇る物流の中核地域です。首都圏と広域を結ぶ輸送インフラが集中する埼玉県は、事業者数の多さゆえに業態や課題も多様であり、業務効率化や経営の最適化に向けたDXの取り組みを広げていくための重要な起点と言えます。

ぶぎんシステムサービスは2025年5月、物流の次世代化を実現する「アセンド株式会社」※2（本社：東京都新宿区、代表取締役：日下瑞貴）との業務提携契約を締結し、埼玉県を中心とした物流業界のDX推進に貢献する取り組みを開始しました。この提携により、煩雑な管理業務（案件受注から配車・請求書の発行まで）を一気通貫でデジタル化できるシステムをご紹介できるようになり、運送事業者の業務効率化や持続可能な物流体制の構築に寄与して参ります。

※1 物流の2024年問題とは

2024年4月に施行された「働き方改革関連法」により、トラックドライバーの時間外労働が年間960時間に制限されることに起因する問題です。この法律の施行により、以下のような影響が懸念されています。

- 物流・運送業界の売上減少
- 荷主の運賃上昇による商品価格への転嫁
- ドライバーの収入減少や離職の増加
- ドライバー不足の深刻化

この問題は、長時間労働が常態化していた物流業界にとって、抜本的な構造改革を求められる重要な転換点となっています。

※2 アセンド株式会社について

「物流の真価を開き、あらゆる産業を支える」をミッションに掲げ、2020年3月に創業。

「運送事業者の理想の経営を実現」を志向し車両台数規模を問わず運送事業者が手軽に業務効率化・経営DXができる運送管理システム「ロジックス」を提供。併せて国土交通省をはじめとした関連省庁の物流業界の実態調査・分析事業も担い、マクロの政策提言と草の根の双方から物流業界のDXを支援しています。

ぶぎんシステムサービス株式会社は、武蔵野銀行グループの一員として、埼玉県内の企業に寄り添いながら、最良のサポートを提供することを企業理念としています。これからも企業の業務効率化やデジタル化を推進することで、地域経済の発展に貢献して参ります。



■主な業務提携先（敬称略）と商材

株式会社オービックビジネスコンサルタント

- ・奉行クラウドシリーズ
(勘定奉行クラウド、給与奉行クラウド、商蔵奉行クラウド など)
- ・奉行クラウド Edge シリーズ
(発行請求書 DX クラウド、年末調整申告クラウド など)
- ・奉行 VERP クラウド

株式会社ラクス

- ・楽楽精算、楽楽明細、楽楽請求、楽楽販売、楽楽勤怠 など

株式会社 invox

- ・Invox 発行請求書、invox 経費精算、invox 電子帳簿保存 など

株式会社インフォーマート

- ・BtoB プラットフォームシリーズ
(受発注、請求書、契約書 など)

jinjer 株式会社

- ・jinjer シリーズ
(人事労務、勤怠、給与、経費 など)

ジーイーエム株式会社

- ・匠シリーズ
(業務管理、生産管理、販売管理、物流管理 など)

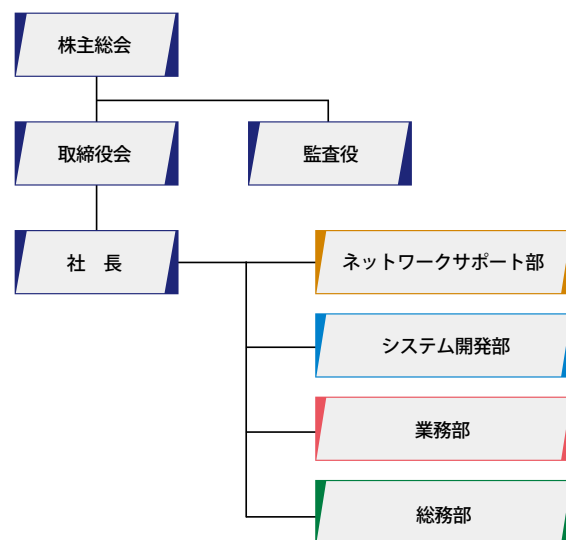


経営理念

BEST SATISFACTORY SUPPORT

武蔵野銀行グループ企業として、県民の皆様に役立つことを企業使命に、お客様に満足していただける最良のサポートを提供します。

組織図



会社概要

社 名	ぶぎんシステムサービス株式会社
代 表 者	取締役社長 天田 裕
設 立	1989 年 8 月 1 日
資 本 金	2,000 万円
従 業 員	42 名 (2025 年 4 月現在)
住 所	さいたま市大宮区北袋町 1-307
電話番号	048-644-8510
H P	https://bugin-bss.co.jp/

ぶぎんシステムサービス株式会社 天田 裕社長に聞く

中小企業のデジタル化の 必要性について



—— なぜ中小企業のデジタル化が必要なのでしょう
か？

中小企業が抱える経営課題は数多くありますが、おそらく業種にかかわらず全ての中小企業にとっての共通の悩みは、「人手不足」ではないでしょうか。中小企業の中には「非効率的なアナログ処理」が数多く残っていて、人手による業務ゆえの「業務の属人化」という問題も抱えていると感じています。

一例をお話ししますと、中小企業では社内のデータ、見積りや注文書、請求書、在庫や商品の管理、大切なお取引先の情報など、多くはベテランの担当者がエクセル等で管理していると思います。それはまさに職人技で、マニアックに作りこんでいるため、その担当者しか使えない、別の社員が触ると壊してしまうので誰も触れない、というケースが散見されます。そうすると、社長や上席者から何か資料や数字を求められても、その担当者しかファイルの場所がわからない、というような笑えない話があったりします。その担当者がいないと業務が止まってしまう、これでは生産性が下がることはもちろん、事業継続という視点で見れば企業にとってリスクでしかありません。

このように、中小企業の中にはまだアナログで合理化されていない業務が数多く残っているのが現状で、このままでは管理や運用に時間がかかり、情報共有のタイムラグや、業務の進捗状況もわかりにくいなどの弊害が生まれます。

—— 中小企業がデジタル化を進めるために気をつけたいことは？

一つ目は「業務の見える化」です。日ごろから業務をデータ化し、社内の情報を共有することにより、誰もが作業できる環境を作っておくこと、これが「業務の属人化」を防ぐとともに、「人手不

足解消」にもつながると考えています。

二つ目は「スモールスタート」です。デジタル化というと何やら大きなイメージが先行し、予算が少ないからと諦めている企業さまがいるかもしれませんが、ただお金をかけてシステムやツールを入れれば良いというものではなく、まずは身近な業務から取組むことから始めて、少しずつデジタル化を進めていくことが大切＝成功の秘訣だと感じています。事実、成功した企業さまは小さなことから取組んでいます。

三つ目は「補助金の活用」です。費用面で言えば「IT導入補助金 2025」などの補助金を活用して、国や自治体のサポートを得ながら自己負担を減らし、業務の効率化・省力化を進めていくことも有効だと思います。

弊社では開発経験がある営業担当者が、課題解決のための最適なデジタル化のご提案を、それぞれの企業さまに寄り添いながら行っておりますので、業務のデジタル化で課題をお持ちの皆さまには、ぜひ弊社にご相談いただきたいと思います。

—— 今後の目標についてお聞かせください

デジタル化についてのお悩みは企業さまごとに多種多様です。弊社はご相談いただいた皆さまに寄り添い、お悩み事を一つ一つ解決できるようアドバイスも含め対応してまいります。

最適な商材やシステムの提案が行えるよう、情報収集を行い、技術革新が日進月歩のIT業界の中で信頼され、安心して相談できる会社として認知されるべく進化していきたいと考えています。

武蔵野銀行グループの一員として、一社でも多く、地元企業さまの業務のデジタル化のお悩みを解決し、「ぶぎんシステムサービスに相談して良かった」と評価されるようになることが目標です。